

安全データシート

整理番号 : RT125GJ02

作成日 : 2022/05/13

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ApeosPort-VI C2271 RC PFS
ApeosPort-VI C3371 RC PFS
ApeosPort-VI C4471 RC PFS
ApeosPort-VI C5571 RC PFS
ApeosPort-VI C6671 RC PFS
ApeosPort-VI C7771 RC PFS
トナー(マゼンタ)

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3
046-237-1686

供給者のファクシミリ番号又は e-mail アドレス : [e-mail アドレス] dge-fb-msds-admin@fujifilm.com

担当部門 : 品質保証部
環境商品安全統括 G

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 電子写真用トナー

使用上の制限 : 推奨用途以外の使用は推奨しない

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び濃度又は濃度範囲 : 営業上の秘密に該当する通知対象物質の含有量は、10%刻みの記載とする。(基発 0424 第 2 号に基づく)

化学名又は一般名	含有量(重量%)	官報公示整理番号	CAS Registry No.
		(化審法/安衛法)	
ポリエステル樹脂	< 90%	非開示	非開示

ApeosPort-VI C2271 RC PFS/ApeosPort-VI C3371 RC PFS/ApeosPort-VI C4471 RC PFS
 ApeosPort-VI C5571 RC PFS/ApeosPort-VI C6671 RC PFS/ApeosPort-VI C7771 RC PFS
 トナー(マゼンタ) 富士フイルムビジネスイノベーション(株) RT125GJ02

作成日 : 2022/05/13

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

化学名又は一般名	含有量(重量%)	官報公示整理番号	CAS Registry No.
		(化審法/安衛法)	
酸化鉄(フェライトとして)	< 10%	1-357	1309-37-1
酸化マンガン(フェライトとして)	2.8%	1-475	1344-43-0
パラフィンワックス	< 10%	8-430	8002-74-2
赤色顔料	< 10%	非開示	非開示
シリカ(非晶質)	< 10%	1-548	7631-86-9
二酸化チタン	< 10%	1-558	13463-67-7

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類(PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE 類)、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル (DEHP)、ブチルベンジルフタレート(BBP)、ジブチルフタレート(DBP)、およびジイソブチルフタレート(DIBP)を含有しない

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹸を使って水でよく洗い流す。
- 眼に入った場合 : 15分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 吸入はできるかぎり避ける。大量にこぼした場合は、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
- 環境に対する注意事項 : 下水道や河川への漏出を防ぐ。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 周囲に火種がないことを確認する。

ApeosPort-VI C2271 RC PFS/ApeosPort-VI C3371 RC PFS/ApeosPort-VI C4471 RC PFS
 ApeosPort-VI C5571 RC PFS/ApeosPort-VI C6671 RC PFS/ApeosPort-VI C7771 RC PFS
 トナー(マゼンタ) 富士フイルムビジネスイノベーション(株) RT125GJ02

作成日 : 2022/05/13

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

少量の場合はほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取る。大量にこぼした場合は、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

こぼれた製品は電気掃除機で吸い取らないこと。(掃除機を用いると微粒子が掃除機内部に充満し、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがある)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
- 安全取扱い注意事項 : 火中に絶対に投げない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない
- 接触回避 : 特になし

保管

- 安全な保管条件 : 直射日光を避け、乾燥した換気のよいところに、低温で保管する。子供の手の届くところに保管しない。
- 安全な容器包装材料 : 弊社の容器包装材料を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	:	日本産業衛生学会	電子写真用現像剤	8mg/m ³ (総粉塵)
			(第3種粉塵)	2mg/m ³ (吸入性粉塵)
			酸化鉄(第2種粉塵)	4mg/m ³ (総粉塵)
				1mg/m ³ (吸入性粉塵)
			酸化マンガン	0.1mg/m ³ (総粉塵)
				0.02mg/m ³ (吸入性粉塵)
			二酸化チタン	0.3mg/m ³
				(二酸化チタン ナノ粒子)
	:	ACGIH	粒子状物質	ACGIHの最新版の許容濃度を参照
			(総粉塵/吸入性粉塵)	
管理濃度	:		酸化マンガン	0.05mg/m ³ (Mn)
濃度基準値	:	厚生労働省	データなし	
設備対策	:	弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。		
保護具	:	弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。		

ApeosPort-VI C2271 RC PFS/ApeosPort-VI C3371 RC PFS/ApeosPort-VI C4471 RC PFS
 ApeosPort-VI C5571 RC PFS/ApeosPort-VI C6671 RC PFS/ApeosPort-VI C7771 RC PFS
 トナー(マゼンタ) 富士フイルムビジネスイノベーション(株) RT125GJ02

作成日 : 2022/05/13

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

呼吸用保護具 : 弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
 手の保護具 : 弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
 眼、顔面の保護具 : 弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
 皮膚及び身体の保護具 : 弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 粉体
 色 : 赤色
 臭い : 微かなプラスチック臭
 融点/凝固点 : データなし
 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 適用外
 可燃性 : 15項参照
 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
 自然発火点 : データなし
 分解温度 : データなし
 pH : 適用外
 動粘性率 : 適用外
 溶解度 : 不溶(水)
 n-オクタノール/水分配係数(log) : 適用外
 蒸気圧 : 適用外
 密度及び/又は相対密度 : 適用外
 相対ガス密度 : データなし
 粒子特性 : <12 μ m(トナーとして)
 その他のデータ : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 安定
 化学的安全性 : 安定
 危険有害反応可能性 : 可能性なし
 避けるべき条件 : 特になし
 混触危険物質 : 特になし
 危険有害な分解生成物 : 情報なし

ApeosPort-VI C2271 RC PFS/ApeosPort-VI C3371 RC PFS/ApeosPort-VI C4471 RC PFS
 ApeosPort-VI C5571 RC PFS/ApeosPort-VI C6671 RC PFS/ApeosPort-VI C7771 RC PFS
 トナー(マゼンタ) 富士フイルムビジネスイノベーション(株) RT125GJ02

作成日 : 2022/05/13

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50%致死量)

経口→LD50(ラット)	: >2000 mg/kg (GHS 区分に該当しない)
経皮→LD50	: データなし
皮膚刺激性(ラビット)	: 刺激性なし
皮膚腐食性	: 腐食性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 (ラビット)	: 最小の刺激(印字成分)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 (マウスまたはモルモット)	: 皮膚感作性なし
生殖細胞変異原性	: AMES 試験 陰性
発がん性 - 説明	: カーボンブラックは、国際がん研究機関(IARC)によって"グループ 2B(ヒトに対して発癌性があるかもしれない)"に分類される。しかし、カーボンブラックを含有するトナーに対するラットの長期吸入暴露試験では、「発癌の証拠なし」の結論を得ている。二酸化チタンは IARC の発がん性分類で、グループ 2B に分類される。動物実験では、ラットのみ肺腫瘍が認められた。これは、ラットの肺クリアランスメカニズムの過負荷(オーバーロード現象)によるもので、本製品の通常使用時にはあり得ないと推察される。呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露との関係は、これまでの疫学調査で認められなかった。なお、カーボンブラック及び二酸化チタン以外の構成成分は発がん物質(文献 1)に該当しない。
生殖毒性	生殖毒性及び発生毒性物質(文献 2)を含有せず。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: ラットを用いた 2 年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量(4 mg/m ³)もしくは高用量(16 mg/m ³)の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量(1 mg/m ³)の群については、肺に特別な変化は認められなかった。弊社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1 日当たり 1mg/m ³ を大幅に下回っており、製品を日常

ApeosPort-VI C2271 RC PFS/ApeosPort-VI C3371 RC PFS/ApeosPort-VI C4471 RC PFS
 ApeosPort-VI C5571 RC PFS/ApeosPort-VI C6671 RC PFS/ApeosPort-VI C7771 RC PFS
 トナー(マゼンタ) 富士フイルムビジネスイノベーション(株) RT125GJ02

作成日 : 2022/05/13

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

誤えん有害性 : 対象外
 その他 : データなし

的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している(文献3)。

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性

魚類 96 時間 LL50 (ヒメダカ) : >500 mg/L (GHS 区分に該当しない) (印字成分)
 ミジンコ類 48 時間 EL50 (オオミジンコ) : >100 mg/L (GHS 区分に該当しない) (印字成分)
 藻類 72 時間 ErL50 (ムレミカヅキモ) : >100 mg/L (GHS 区分に該当しない) (印字成分)

残留性・分解性 : データなし
 生体蓄積性 : データなし
 土壌中の移動性 : データなし
 オゾン層への有害性 : データなし
 他の有害影響 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 :
 適切な処理が必要なので、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店に渡すこと。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当
 海洋汚染物質 : 非該当
 MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 : 非該当
 国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

ApeosPort-VI C2271 RC PFS/ApeosPort-VI C3371 RC PFS/ApeosPort-VI C4471 RC PFS
 ApeosPort-VI C5571 RC PFS/ApeosPort-VI C6671 RC PFS/ApeosPort-VI C7771 RC PFS
 トナー(マゼンタ) 富士フイルムビジネスインノベーション(株) RT125GJ02

作成日 : 2022/05/13

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化審法	: 非該当
労働安全衛生法	: 特定化学物質第2類物質、管理第2類物質(特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2, 5号)名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9) 固形パラフィン 酸化チタン(I V) 酸化鉄 マンガン及びその無機化合物 【改正後 令和7年4月1日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2) 【改正後 令和7年4月1日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) マンガン及びその化合物 (政令番号 : 412) マンガンとして (2.2%)

ApeosPort-VI C2271 RC PFS/ApeosPort-VI C3371 RC PFS/ApeosPort-VI C4471 RC PFS
ApeosPort-VI C5571 RC PFS/ApeosPort-VI C6671 RC PFS/ApeosPort-VI C7771 RC PFS
トナー(マゼンタ) 富士フイルムビジネスイノベーション(株) RT125GJ02

作成日 : 2022/05/13

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を弊社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number(R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- (文献 1) : ・IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans (WHO.IARC : 国際癌研究機関)
・National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens (NTP : 米国・国家毒性プログラム)
・TLVs and BEIs (ACGIH : 米国・政府産業衛生専門家会議)
・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EECと 1999/45/ECを改正・廃止、また規則(EC)No1907/2006を改正することに関する規則(EC)No1272/2008(CLP 規則)
・産業衛生学雑誌(日本産業衛生学会)
- (文献 2) : ・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EECと 1999/45/ECを改正・廃止、また規則(EC)No1907/2006を改正することに関する規則(EC)No1272/2008(CLP 規則)
- (文献 3) : ・Pulmonary Response to Toner upon Chronic Inhalation Exposure in Rats
H.Muhle et.al Fundamental and Applied Toxicology 17.280-299(1991)
・Lung Clearance and Retention of Toner, Utilizing a Tracer Technique, during Chronic Inhalation Exposure in Rats
B.Bellmann Fundamental and Applied Toxicology 17.300-313(1991)